

図書館情報

—読書とは
知らないことを知ることです—

●問い合わせ先

本館 73-1616 清和 82-3033 蘇陽 73-2755

上映会情報 入場無料

「踊らん哉」 日時：10月27日（日曜日）

時間：①午後2時～ ②午後7時30分～

場所：図書館ホール

はっけよい！のこった！ 紙相撲大会が開かれました

8月3日図書館ホールにて紙芝居大会が開かれました。参加した子ども達は、思い思いに名前を付け、色を塗った紙力士で、トーナメントに挑みました！優勝者には、本田館長よりトロフィーが授与され、みんな大いに楽しみました。



★令和元年10月のわくわく号運行予定★

※利用される巡回場所・時間の確認を今一度ご確認ください。

追加・変更された巡回コースがあります。

※悪天候の場合は巡回を中止する場合がございます。みなさまのご理解とご協力を宜しくお願い致します。



蘇陽地区

月 日	巡回場所・時間
10月2日(水)	馬見原公民館(午前11時～) 蘇陽南小学校(午後1時10分～) 馬見原保育園(午後2時～) 菅尾保育園(午後2時30分) 二瀬本保育園(午後2時55分) 蘇陽小学童蘇陽キッズ(午後3時30分～)
10月3日(木)	長谷交流館(午前10時30分～) 蘇陽中学校(午後1時～) そよ風の里ほたる(午後1時50分～) 蘇陽苑(午後2時30分～) はあとふる・けあふる(午後3時～)
10月4日(金)	スクランブル(午前10時30分～) 二瀬本コミュニティセンター(午前11時～) 花上多目的集会所(午後0時30分～) 蘇陽小学校(午後1時10分～) まこと薬局駐車場(午後2時～) 蘇陽南小学童そよかぜ会(午後2時30分～) おおのまなび舎Cafe(午後3時～)

清和地区

月 日	巡回場所・時間
10月8日(火)	小峰保育園(午前10時～) 緑川簡易郵便局(午前10時40分～) 清和支所(午後0時30分～) 清和中学校(午後1時10分～) 大川保育園(午後1時30分～) 清和学童(午後3時～)
10月9日(水)	山都消防署(午前10時～) 井無田診療所横(午前10時45分～) 原尻公民館(午前11時30分～) 清和小学校(午後1時～) 支援ハウス(午後1時40分～) 市野原(午後2時～)

矢部地区

月 日	巡回場所・時間
10月10日(木)	矢部小学校(午後1時～)
10月16日(水)	金内公民館(午前9時45分～) 中島西部コミュニティセンター(午前10時20分～) 中島西部瀬戸バス停(午前10時40分～) 中島南部体育館横(午前11時～) 矢部中学校(午後1時15分～) 白小野(午後2時～) さくらんぼ愛園(午後2時30分～) 大地(午後3時～)
10月17日(木)	文化の森(午前10時～) 山風華(午前10時45分～) 山都町役場(午後0時30分～) 乳児園(午後1時30分～) ライフライト矢部(午後2時～) あおぞら・もやい(午後2時30分～) 富士ラーメン(午後3時～)
10月18日(金)	風ノ木(午前10時～) 浜美荘(午前10時35分～) 千寿苑(午後0時30分～) 大矢荘(午後1時15分～) 光露館(午後1時40分～) 彩雲苑(午後2時～) 金内保育園(午後2時20分～)

※図書館利用者カードをお持ちの方は、貸出しに必要ですので必ずお持ちください。

※本をたくさん借りられる方はマイバッグの持参にご協力ください。巡回場所での滞在時間は約30分です。

※貸出期間は1か月です。次に借りたい方がいらっしゃいますので、返却期限での返却にご協力ください。

わたしたちの人権

175

誰もが人間として生きていくうえで
侵すことのできない当然の権利
これが『人権』です

山都町PTA連絡協議会人権研修会

8月31日、水俣市立水俣病資料館において山都町PTA連絡協議会人権教育研修会を開催しました。本研修会は、PTA役員及び教職員の人権意識の高揚と、人権教育をはじめとする社会教育における指導者としての資質向上及び所属間の連携強化を目的に毎年実施しているものです。



語り部 永本賢二さん

研修会では水俣病資料館語り部の永本賢二さんにご講話を頂きました。

幼少期に胎児性水俣病と診断された永本さんは、水俣病の悲惨さや水俣病患者を含めた障害者の思いを伝え、少しでも障害者に対する差別や偏見をなくしたいという思いから2002年に水俣病資料館の語り部になりました。

この日も、自らの生い立ちや、体が不自由であることから受けてきた様々な差別のこと、また水俣病や原因企業であるチッソ工場に対する自らの思いなどを語られました。

参加者は熱心に聞き入り、水俣病に関する認識を深めていました。



講話を聞き入る参加者

○参加者の感想（抜粋）

・水俣病患者の人生の苦悩などを知り、心が痛んだ。差別や偏見はあってはならないことだと思ふ。
・チッソ工場に勤務する父のジレンマについて語られ、息子を大切に想う父の言動に心を打たれた。
・永本さんは、水俣病であることや体が不自由なこと、口では表せないほどの辛い体験をされてきたのではないかと思う。病の症状よりも苦しかったのではないか。それでもしっかりと前を向き、自身の体験や今なお苦しむ患者の思いを伝えるため語り部として懸命に活動されている姿に感銘を受けた。

「水俣病とは」

水俣病は、化学工場などから排出されたメチル水銀が魚介類に蓄積され、この汚染された魚介類を食べることによって起きるメチル水銀中毒です。空気や食物を通じてうつる伝染病ではなく遺伝することはありません。

水俣病は昭和31年に熊本県水俣市で公式確認され、昭和43年に国がチッソ株式会社による公害病と認定しました。

体内に入ったメチル水銀は、主に脳などの神経系を侵し、手足のしびれ、ふるえ、脱力、耳鳴り、目に見える範囲が狭くなる、耳が聞こえにくい、言葉がはっきりしない、動きがぎこちなくなるなど様々な症状を引き起こします。妊娠中の母親が汚染された魚介類を食べることによって、胎盤を経由して胎児がメチル水銀中毒になり、脳性小児麻痺と類似した症状をもつて生まれる胎児性水俣病患者も発生しました。

水俣病の根本的な治療法は現在のところ見いだされておらず、それぞれの症状に対する対症療法や機能回復訓練などが主な治療になっています。